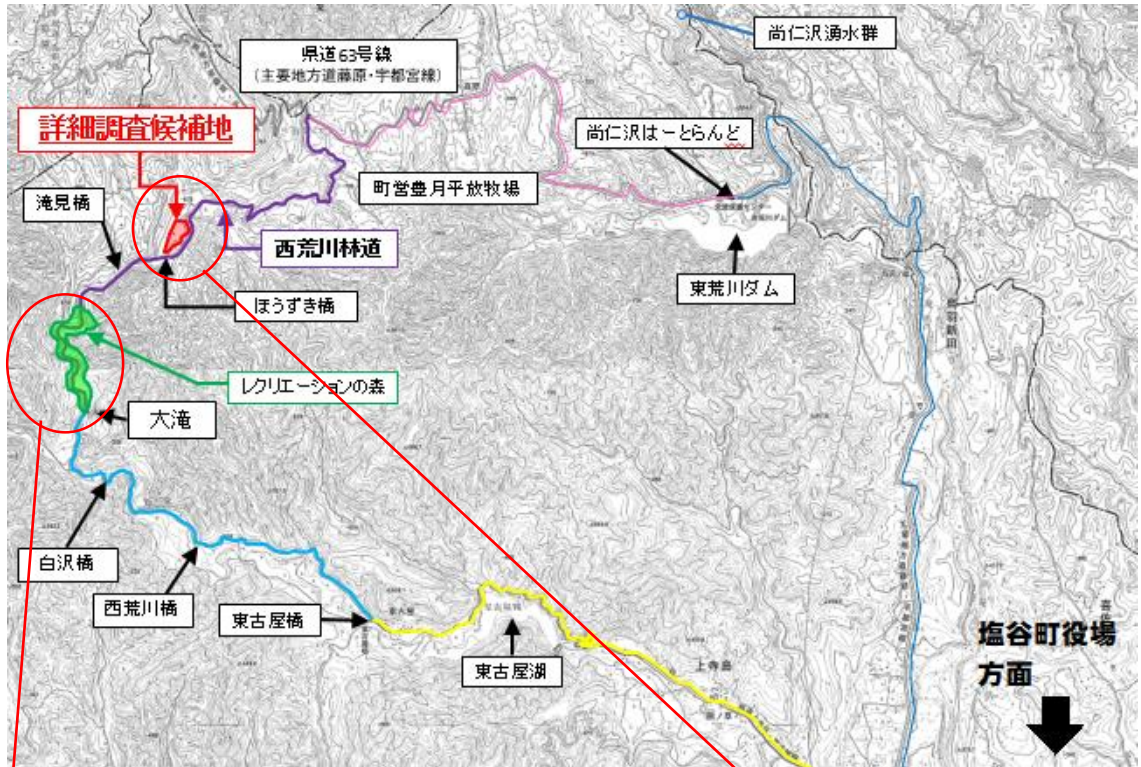
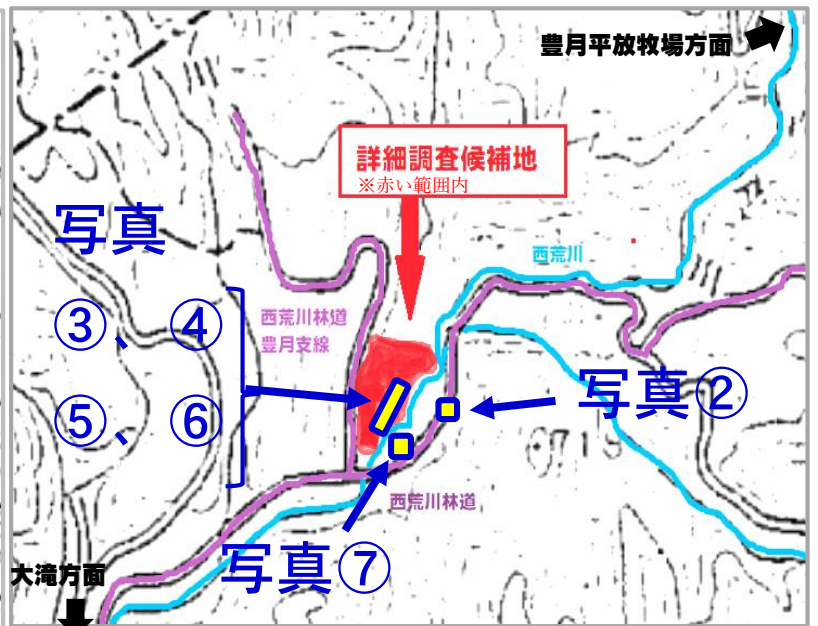


◇ 7月24日（水）の大雨による、詳細調査候補地に通ずる
 林道と候補地の冠水状況 ※ 確認日：7月25日（木）

● 詳細調査候補地の位置図と写真の撮影場所



(マル付番号は、写真番号)



《林道の様子》

● 西荒川林道（大滝風景林付近） 写真①



道の途中が陥没し、一部崩落していた。

● 西荒川林道（候補地の西側の林道） 写真②



山から流れ出た土砂によって林道が埋まり、枝や流木も散乱しているところも見られた。

路面には、流れた水による洗掘跡も見られた。

《候補地の様子》

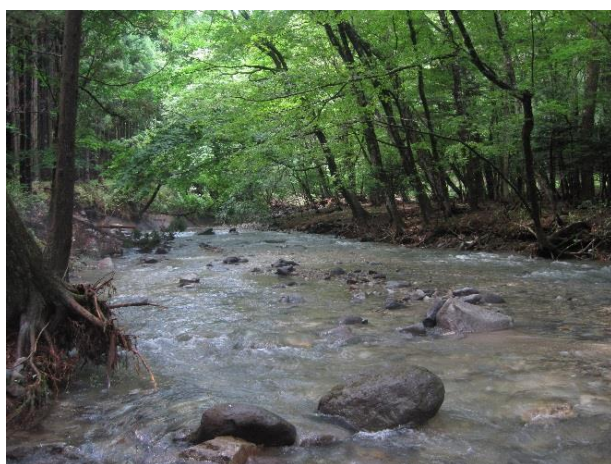
7月25日（木）午後2時、候補地の冠水状況を直接確認するため、候補地内に入った。状況は、砂や泥が堆積し、草が水の勢いで流されてなぎ倒されていた。また、杉の立木に枯れ木等が引っかかっており、冠水した状況は、明らかであった。

前日、雨が一番強かった時間帯は、午後6時から午後7時頃。その直後、候補地と西荒川の段差がないことから、一気に増水し、河川から溢れだした水により候補地内が冠水したと推測できる。

候補地付近は、山からの距離が短く急傾斜地であるため、短時間で水位が上昇する。

平成27年の関東・東北豪雨や今回の大雨により、候補地は、河川との段差がないことから、約100mm以上の大雨が降ると、冠水すると考えられる。

● 候補地内（西荒川の上流側より下流側へ）



写真③ 候補地は、川面と、ほとんど段差のないところである。



写真④ 候補地内には、堆積した泥砂が、4 c mほど溜まっていた。



写真⑤ 川面から約20m奥の場所も、泥砂が堆積し、水の流れた跡ができていた。



写真⑥ 候補地内の杉の立木。根元には、流されてきた大量の枝が絡まっていた。

● 西荒川を挟んだ候補地の対岸部分 写真⑦



対岸側にも泥砂が広く堆積し、草が一定方向に押し流された痕跡が多く見られた。

※冠水状況の詳細は、「処分場対策班だより第31号」(R1.8/27 発行)を参照してください。